

「片づけで叶う、家族も私も心地いい暮らし」

整理収納アドバイザー おおもと まさこ 氏



参加者の感想

- 家をごちゃごちゃしていると、心おだやかでいられないという経験は何度もしています。自分1人で自宅の片付けをするのではなく、家族をまき込んで実施していきたいです。分かりやすくお話ししていただき、ありがとうございました。
- 「きれいとは連鎖する」これが一番モチベーションを上げる言葉になりそうです。お会いしたかった大元さんの講演を聞くことができて嬉しかったです。
- 片付け方のポイントがわかり、とてもためになりました。整理収納ピラミッドの順に少しずつしていけば、無理なくできるかと思えます。
- プレゼントやお土産品など、捨てるのがなかなか出来ませんが、少しずつやってみようと思います。

「子どもの自己肯定感を育む大人のかかわり」

～大切な子どもたちへ・・・素敵な贈り物～

NPO法人 子ども達の環境を考えるひこうせん 代表理事 あかさこ やすよ 赤迫 康代 氏



参加者の感想

- 見方を変えると、これはこういう事かと良い方に考えられる事を改めて感じる事が出来ました。
- 子どもの心の発達には甘えと自立の繰り返しが必要なことなのだと思います。
- 子どもの良い所も悪い所も認めて、苦手な事を前向きに取り組んでいきたい。
- 自己肯定感がゆらいでしまう時期があって、その時大人はその子を大切に、その子を尊重してあげる事が大事なんだ、ということが心に残りました。
- これからは、言葉も気持ちもプラスの方へ考えたいと思います。



「落語を愉しもう ～江戸落語から学ぶ～」

しょうかいてい きつす
岡山おもれえ会 副会長 笑皆亭 口口 氏



県内外で活躍されている笑皆亭口口氏をお招きし、人権教育講演会を開催しました。歯に着せぬ江戸落語や、三味線奏者の藤本刃七氏による端唄を通して、人と人との関わりや会話の大切さについて考える機会となりました。



参加者の感想

- 日本の古典芸能に生で同じ空間でふれることが出来て良かったです。
- 江戸落語ははじめてでした。テンポがあって面白かったです。みんなで聞くことの楽しさが良かったです。
- とっても涼しい会場で、灼暑や日常のうさを忘れさせてくれる楽しい講演でした。子供の頃にはとても怖かった番町血屋敷も、現代風にアレンジされ、落語家の巧みさを痛感しました。端唄は初めてで、お座敷遊びの粋を感じました。至福のひとときをありがとうございました。
- コロナの時代の閉塞感をやっと忘れたような良い時間になりました。三味線の端唄は初めて直に聞かせていただきました。粋な空気感の体験でした。落語もテレビくらいしか聞くことがないので、目の前の落語にしばし引き込まれました。心もゆるんで楽しい時間になりました。
- 人間関係の基本であるのは面対応の話し合いであることを、落語から学びました。今後はスマホでのメールやラインよりも、話し合いを心掛けるようにします。
- 生で落語や三味線を聞くのは初めてで楽しませていただきました。同じ時間・同じ空間で共に作り上げるということがしばらくできなかったけれど、改めて大切なことだと思いました。



多津美中学校区の広報紙「優」で、たびたび登場する、このキャラクターをご存知ですか？

平成 18 年に多津美中学校の全生徒にイラストの募集をしてキャラクターのデザインが決定し、平成 22 年には一般・小学生・中学生合わせて約 970 人の応募の中から、キャラクターの名前が「こころ」に決まりました。今では、多津美中学校区全域で、皆から愛される人権啓発キャラクターとして登場しています。みなさん、これからも末永くよろしくお願いします。